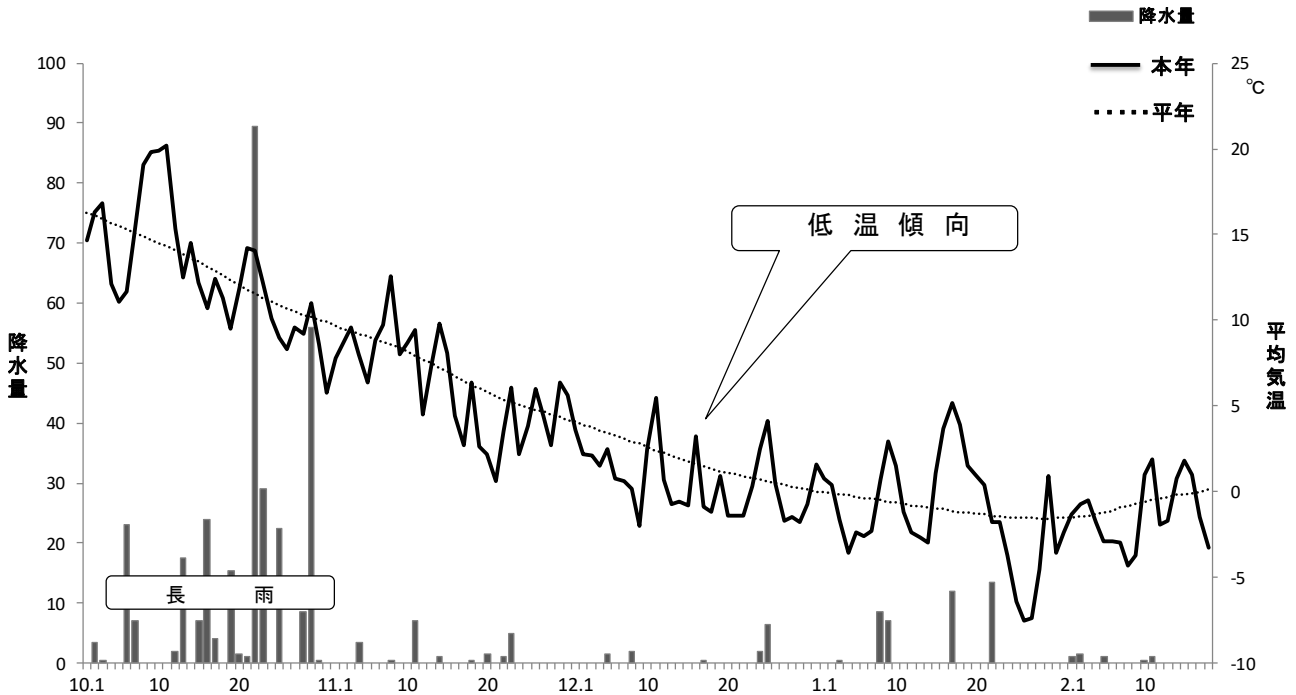


平成30年 作物技術普及情報 第2号

(麦の生育状況・雑草防除、水稻種子の浸種作業について)

平成29—30年 気象経過(穂高アメダス 2月18日現在)



1 気象状況

- ・ 11月中旬以降、低温傾向で推移しています。11月中旬一時的に気温は上昇しましたが、再び低温傾向で推移しています。

2 麦の追肥

- ・ 昨年10月の長雨で播種時期が遅れ、その後も低温傾向で吸いしているため、麦の生育は著しく遅れています。適期に追肥をして茎数の確保をお願いします（追肥については技術情報1号をご覧ください）。

3 これからの麦の雑草防除

- ・ 麦圃場でスズメノテッポウなどが残草し繁茂すると、雑草により肥料が吸われ追肥の効果が劣ったり、麦の生育が劣って減収する場合があります。また収穫作業に支障を来す場合もあります。

近頃、カラスノエンドウが目立つ圃場が見られます。麦と一緒に収穫すると収穫物に種子が混入し除去できなくなります。

- ・ 圃場の残草状況を確認して、雑草が多い場合は、麦の生育期処理（茎葉処理）に登録のある除草剤による雑草防除をお願いします。
- ・ 詳細は「3月以降の麦類の雑草防除について」をご覧ください。
- ・ また、ネズミムギ（イタリアンライグラス）、ヤグルマギク、クジラグサ、ヒメアマナズナ等の帰化アブラナ科雑草の発生している圃場が見られます（草姿は別添資料「麦ほ場の帰化雑草」もご参考下さい）。

これらの雑草は、麦畑に侵入し、一端広がってしまうと防除が困難なので、圃場・畦畔で見つけ次第、除去してください（きれいだからといって畦畔に残さないようにしましょう）。

4 水稻の浸種作業について

- ・ これから浸種作業が始まります。浸種作業は発芽遅れや発芽ムラを防止する重要な技術ポイントの一つなので、基本事項を守り丁寧な管理をお願いします。
- ・ 詳細は「水稻種子の取り扱いは丁寧に」をご覧ください。